

28. 令和7年度愛媛県てんかん地域診療連携体制整備事業

愛媛大学医学部附属病院 てんかんセンター

國枝 武治

元木 崇裕

まとめ

- ◎てんかん治療医療連携検討会を2回開催し、本県独自の課題の抽出と、その具体的な対策と検討を始めています。
- ◎教育用資材『中学生向けてんかん啓発パンフレット』を作成・提供し、広く浸透させるとともに、活用状況の把握を図っています。
- ◎相談対応は主にオンラインで実施し、情報提供するとともに、相談内容を集約したデータベース化を進めるに加えて、新たなコーディネーター育成と資格取得者の増加を推進しています。
- ◎非専門医療従事者向けの研修会を開催し、一般市民対象の公開講座を東予地域で準備しています。

1. 概要

令和7年度に課題として挙げた、教育現場で使用可能な資材の作成・提供を実施して、そのフィードバックが得られるようにしています。引き続きの検討会開催で、個々の課題に対する具体的な対応を現実的に検討する段階に入りました。連携体制整備や医療連携研修も着実に実施しています。

2. 活動報告：①検討会の開催、②連携体制整備事業、③医療連携研修の3つに分けられます。

① 昨年度に引き続き、『愛媛県てんかん治療医療連携検討会』の名称で、支援拠点病院および昨年度同様の関係機関・団体と行政機関の担当で構成される会議体を開催し、前年度に課題に挙げた項目を、拠点病院単独で実現可能な項目と単独では難しい項目に分け、本県独自の課題抽出と具体的な対応策の検討を行いました。令和7年10月21日（火）に第1回●開催し、令和8年2月3日（火）に第2回○を予定しています。

● 第1回：昨年度に挙げられた課題につき、整理と検討を進めました。

(1) 拠点病院が単独で対応する内容

- 『中学生向けてんかん啓発パンフレット』(右)の作成、提供、情報共有
- 医療・行政機関職員に対する疾病教育
- 多職種への啓発
- てんかんセンターへのアクセス

(2) 拠点病院単独では実現が難しい内容

- 県内医療機関との紹介システムの確立
- 医薬品の安定供給と選定療養制度の情報共有
- 高齢患者へのアクセス
- 事例検討会の準備
- 他都道府県の取組み調査依頼

(3) 県内てんかん診療に関わる、新たな問題点の提起

○ 第2回：第一回に挙げられた各課題に関して、さらなる整理と論議を進めます。

(1) 拠点病院が単独で対応する内容

- 市民公開講座(2026/02/14 予定)の情報共有
- てんかんセンターのホームページ改変案
- 『中学生向けてんかん啓発パンフレット』の使用状況に関するアンケートの実施計画

(2) 拠点病院単独では実現が難しい内容

- 医療連携システムの確立
- 高齢患者へのアクセス
- 他都道府県の取組み調査結果の共有

(3) 県内てんかん診療に関わる、新たな問題点の提起



② 相談対応とコーディネーターの育成に取り組んでいます。
 ●昨年度に開設した相談窓口 HP を活用して、患者・家族からの相談対応をオンラインで実施して、個別の情報提供を行うとともに、相談される問題を集約し、個人情報を除いたデータベース化を進めています。

○コーディネーター育成のため、オンライン開催のてんかん診療支援コーディネーター研修会の受講を促すとともに、さらなる新規取得者獲得のため、てんかん学会中国四国地方会（令和8年2月7日予定・広島）、JEPICA 2026（令和8年3月28～29日予定・札幌）の参加を推進します。

③ 今年度実施●、もしくは、予定される○研修会は、以下のとおりです。

●非専門医対象：愛媛県てんかん治療医療連携研修会（右）
 日時：令和7年10月18日（土） 18:00～19:30
 会場：愛媛県医師会館 4階 第1会議室

○一般市民対象：みんなで知ろう！てんかんの最新知識（下）
 日時：令和8年2月14日（土） 14:00～16:00
 会場：新居浜市市民文化センター 視聴覚教室

